

《基礎科目》

科目名	社会福祉援助技術				
担当者氏名	一山 幸子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】 1・2年生交流会に協調性を持って準備・実施する。担任の個別面談や現場職員の施設説明、卒業生就職座談会を通して就職活動計画書を作成する。マナー講座により礼儀作法・社会人としてのマナーを身につけて行動する。「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」の国家試験対策学習を進める。この授業は、社会福祉士、介護福祉士の実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》

1・2年生交流会に協調性を持って準備、実施できる。担任の個別面談や現場職員の施設説明、卒業生就職座談会を通して各自の就職活動や編入学等の進路計画書また、履歴書を作成することができる。マナー講座によって、礼儀作法、社会人としてのマナーを持って行動することができるようになる。「人間の尊厳と自立」及び「人間関係とコミュニケーション」領域の国家試験対策学習を計画的に進めることができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60 % レポート 20 %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 20 % その他 ( ) %

《教科書》

見て覚える！介護福祉士国試ナビ2021、中央法規介護福祉士養成講座14 障害の理解 中央法規  
 配布プリント

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポート課題は、添削して返却します。

《成績評価基準》

1・2年生交流会に協調性を持って準備、実施することができる。担任による個別面談や現場職員による施設の説明、卒業生による就職座談会を通して、各自の就職活動計画書を作成することができる。マナー講座によって、礼儀作法、社会人としてのマナーを持って行動することができるようになる。介護福祉士国家試験対策の学習を進めることができる。

《参考図書》

就職活動ハンドブック2021 西日本短期大学進路指導部

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	履修指導、実行委員選出、1・2年生交流会企画	予習：レクリエーション、アクティビティの授業を予習する(2時間) 復習：レクリエーション、アクティビティの授業を復習する(2時間)
2	1・2年生交流会	予習：レクリエーション、アクティビティの授業を予習する(2時間) 復習：レクリエーション、アクティビティの授業を復習する(2時間)
3	国家試験対策(人間の尊厳と自立)	予習：人間の尊厳と人権の国家試験過去問題を予習する(2時間) 復習：人間の尊厳と人権の国家試験過去問題を復習する(2時間)
4	国家試験対策(人間の尊厳と自立)	予習：人間の尊厳と人権の国家試験過去問題を予習する(2時間) 復習：人間の尊厳と人権の国家試験過去問題を復習する(2時間)
5	担任による個別面談・履歴書作成	予習：各自の進路を調べる(2時間) 復習：各自の進路について調べたことを復習する(2時間)
6	担任による個別面談・履歴書作成	予習：各自の進路を調べる(2時間) 復習：各自の進路について調べたことを復習する(2時間)
7	マナー講座	予習：礼儀マナー・社会人としてのマナーについて調べる(2時間) 復習：礼儀マナー・社会人としてのマナーについて復習する(2時間)
8	高齢者施設の現場(施設職員より)	予習：高齢者施設の種類の種類と内容を調べる(2時間) 復習：高齢者施設の種類の種類と内容のプリントを復習する(2時間)
9	障害者施設の現場(施設職員より)	予習：障害者施設の種類の種類と内容を調べる(2時間) 復習：障害者施設の種類の種類と内容のプリントを復習する(2時間)
10	高齢者施設・障害者施設の現場	予習：福祉施設について学んだことを確認する(2時間) 復習：福祉施設について学んだことをまとめる(2時間)
11	卒業生を招いた就職座談会に向けて	予習：先輩に質問することを記録する(2時間) 復習：先輩から聞いたことをまとめる(2時間)
12	国家試験対策(人間の尊厳と自立)	予習：権利擁護と虐待の国家試験過去問題を予習する(2時間) 復習：権利擁護と虐待の国家試験過去問題を復習する(2時間)
13	国家試験対策(人間関係とコミュニケーション)	予習：相談援助技術と社会資源の国家試験過去問題を予習する(2時間) 復習：相談援助技術と社会資源の国家試験過去問題を復習する(2時間)
14	就職活動計画書作成	予習：各自の就職面談希望施設を調べる(2時間) 復習：各自の就職面談希望施設について記録する(2時間)
15	まとめ・レポート作成	予習：前期の学習を振り返り、要点を記録する(2時間) 復習：前期の学習をまとめ、総復習する(2時間)

《基礎科目》

科目名	高齢者健康学				
担当者氏名	中野 幹子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

老化や高齢者に多い症状と疾患と生活上の留意点を学ぶ。介護福祉士として、保健医療福祉の連携を図ることができるように必要な医学的知識を学ぶ。基本的には教科書にそった内容のパワーポイントを使用して授業を行います。

《教科書》

最新介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験、レポート提出、発表を総合的にフィードバックする。

《授業の到達目標》

1. 高齢者の健康を学ぶことができる。
2. 高齢にともなう身体的な変化と生活への影響を学ぶことができる。
3. 高齢者に多い疾患と症状と生活上の留意点について説明できる。

《成績評価基準》

期末筆記試験と小テスト、授業への取り組みを総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 70% レポート 20%  
授業の取組 10%

《参考図書》

国家試験ナビ、配布プリント

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	今後の授業の流れ、評価方法の説明
2	健康長寿に向けての健康	予習：健康とは(1時間) 復習：健康寿命(1時間)
3	高齢者の症状・疾患の特徴	予習：骨筋肉の疾患(1時間) 復習：疾患の特徴(1時間)
4	高齢者の症状・疾患の特徴	予習：肺・循環器(1時間) 復習：疾患の特徴(1時間)
5	高齢者の症状・疾患の特徴	予習：内臓疾患(1時間) 復習：疾患の特徴(1時間)
6	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：高齢者に多い疾患(1時間) 復習：留意点と気づき(1時間)
7	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	予習：高齢者に多い疾患(1時間) 復習：留意点と気づき(1時間)
8	保健医療職との連携	予習：医師や看護師との連携の方法(1時間) 復習：報告の内容(1時間)
9	保健医療職との連携	予習：リハビリの専門職や栄養士他との連携の方法(1時間) 復習：報告の内容(1時間)
10	老化と身体的な変化と生活への影響	予習：身体的変化の理解(1時間) 復習：疾病と身体的変化の理解(1時間)
11	老化と身体的な変化と生活への影響	予習：身体的変化の理解(1時間) 復習：疾病と身体的変化の理解(1時間)
12	老化と心理的な変化と生活への影響	予習：心理的变化の理解(1時間) 復習：疾病と心理的变化の理解(1時間)
13	老化と社会的な変化と生活への影響	予習：社会的変化の理解(1時間) 復習：疾病と社会的変化の理解(1時間)
14	老化と社会的な変化と生活への影響	予習：社会的変化の理解(1時間) 復習：疾病と社会的変化の理解(1時間)
15	まとめと復習	予習：14回分の復習(1時間) 復習：老化と健康の重要性(1時間)

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	池末 愛香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】

実技を主とする

1. 日常生活での作法をより美しく身につける
2. 周囲への心配りができ、感謝する心を身につける
3. 茶道を学ぶことで、日本文化への造詣を深める
4. 前半は風炉薄茶点前、後半は炉薄茶点前を稽古する

《教科書》

帛紗セット

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業終了後レポートを作成し、次の授業までに提出する

《授業の到達目標》

繰り返し稽古することによって、心を込めたもてなしが自然体  
でできるようになる

思いやりを持って、お互いに接することができる

真心を込めて、お茶をたてることができる

総合文化といわれる茶道を学ぶことによって、美に対する感性  
を磨くことができる

日本の昔からの儀礼や慣習を体験し、覚えることができる

《成績評価基準》

授業への取り組み方

レポートの内容

所作・点前の習得度

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 30%

課題 % 実技 30%

授業の取組 40%

その他 ( ) %

《参考図書》

『裏千家茶道』 監修・裏千家今日庵  
制作・一般財団法人 今日庵

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 基本の所作	予習内容 シラパスを読む(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
2	帛紗の扱い 柄杓の扱い	予習内容 基本の所作を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
3	客の心得 運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
4	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
5	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
6	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
7	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
8	薄茶点前(風炉) 棚の扱い	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
9	柄杓の扱い 運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
10	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
11	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
12	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
13	薄茶点前(炉)棚の扱い 茶会の準備	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
14	茶会	予習内容 帛紗さばき、茶会の流れを確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
15	茶会 総括	予習内容 帛紗さばき、茶会の流れを確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)

《専門科目》

科目名	介護の基本				
担当者氏名	川井 小百合				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

介護現場で必要となる安全対策や多職種・地域との連携などについて理解を深めていきます。介護が必要な人を支えるためには何が大切なのか、しっかりと考えていきましょう。

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは確認後に返却し、必要に応じて授業時に解説する。

《授業の到達目標》

介護を必要とする人の生活の多様性を理解し、その生活を支援する介護サービスについて説明できる

多職種の役割と専門性、チームアプローチの展開について理解することができる

介護における安全確保のための基礎的な知識や事故への対応を理解し、説明できる

《成績評価基準》

講義内容についてのレポート・まとめのミニテストにより評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%

レポート 10%

授業の取組 10%

《参考図書》

「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」  
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護を必要とする人の理解	予習：「介護の基本」の講義内容を再確認する(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
2	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ	予習：介護保険制度について調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
3	介護サービスの概要	予習：介護サービスの概要について調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
4	介護保険制度の概要	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
5	1～4までのまとめ	予習：1～4までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
6	協働する多職種の役割と機能	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
7	多職種の役割と専門性の理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
8	協働する多職種の役割と機能	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
9	介護従事者の安全	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
10	介護における安全の確保	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
11	リスクマネジメント・事故防止・感染予防	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
12	6～11までのまとめ	予習：6～11までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
13	地域包括ケアシステムと地域連携	予習：地域包括ケアシステムについて調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
14	ケアマネジメント	予習：ケアマネジメントについて調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	介護の基本				
担当者氏名	一山 幸子、川井 小百合、折居 明日香、田邊 伸一、山本 恭大				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】1) 知的障害の医学的側面の基礎的知識を確認する。2) 利用者像、アセスメント、介護計画（個別支援計画）・実施・評価の3種類の課題シートを事例 DVD 視聴を行い作成する。3) 知的障害者施設の生活支援員より知的障害者支援の実際について話を聴く。4) 自分で作成した個別支援計画をロールプレイによって実施・評価する。この科目は介護福祉士、社会福祉士の実務経験がある教員が担当する。

《授業の到達目標》

1) 知的障害の医学的側面の基礎的知識を確認する。2) 利用者像、アセスメント、介護計画（個別支援計画）・実施・評価の3種類の課題シートを事例 DVD 視聴を行い作成する。3) 知的障害者施設の生活支援員より知的障害者支援の実際について話を聴く。4) 自分で作成した個別支援計画をロールプレイによって実施・評価する。これらの習得により介護実習において自分自身で介護計画の立案・実施・評価ができる。

《成績評価の方法》

筆記試験	%	レポート	%
課題	80 %	実技	%
授業の取組	20 %	その他 ( )	%

《教科書》

最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」介護福祉士養成講座編集委員会 編集  
見て覚える！介護福祉士国試ナビ2021、中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題シートを毎回提出してもらいます。添削して、次回授業で返却します。

《成績評価基準》

利用者像を作成することができる。  
アセスメントを作成することができる。  
介護計画（個別支援計画）を作成することができる。  
介護計画（個別支援計画）の実施・評価を作成することができる。

《参考図書》

介護福祉士養成講座8 生活支援技術、中央法規  
知的障害のおともたち、ミネルヴァ書房

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護サービス：利用者像	予習：知的障害の定義・支援方法の確認(2時間) 復習：知的障害の定義・支援方法の確認(2時間)
2	介護サービス：利用者像	予習：介護過程(利用者像の書き方)の確認(2時間) 復習：介護過程(利用者像の書き方)の確認(2時間)
3	介護サービス：利用者像	予習：知的障害の定義・支援方法の確認(2時間) 復習：知的障害の定義・支援方法の確認(2時間)
4	介護サービス：アセスメント	予習：知的障害の定義・支援方法の確認(2時間) 復習：知的障害の定義・支援方法の確認(2時間)
5	介護サービス：アセスメント	予習：介護過程(アセスメントの書き方)の復習(2時間) 復習：介護過程(アセスメントの書き方)の復習(2時間)
6	介護サービス：アセスメント	予習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間) 復習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間)
7	介護サービス：アセスメント	予習：介護過程(アセスメントの書き方)の復習(2時間) 復習：介護過程(アセスメントの書き方)の復習(2時間)
8	介護サービス：介護計画(個別支援計画)	予習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間) 復習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間)
9	介護サービス：介護計画(個別支援計画)	予習：介護過程(介護計画の書き方)の復習(2時間) 復習：介護過程(介護計画の書き方)の復習(2時間)
10	介護サービス：介護計画(個別支援計画)	予習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間) 復習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間)
11	介護サービス：実施・評価(ロールプレイ)	予習：介護過程(実施・評価の書き方)の復習(2時間) 復習：介護過程(実施・評価の書き方)の復習(2時間)
12	介護サービス：実施・評価(ロールプレイ)	予習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間) 復習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間)
13	介護サービス：実施・評価(ロールプレイ)	予習：介護過程(実施・評価の書き方)の復習(2時間) 復習：介護過程(実施・評価の書き方)の復習(2時間)
14	介護サービス：実施・評価(ロールプレイ)	予習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間) 復習：知的障害の定義・支援方法の復習(2時間)
15	まとめ	予習：介護過程(の書き方)の復習(2時間) 復習：介護過程(の書き方)の復習(2時間)

《専門科目》

科目名	生活支援技術（清潔）				
担当者氏名	田邊 伸一、山本 恭大				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】入浴、清潔、身支度の場面において、対象者の能力を活用、発揮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識、技術を習得することを目指す。また、実践の根拠について、説明できる能力を身につける。

この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。

《授業の到達目標》

・入浴・清潔保持の意義意義・目的を理解し、安全で心地よい介助が実践できる。  
 ・利用者の健康状態や状況を把握し、潜在能力を活かした基本的な整容・身支度・衣服の着脱の技術が習得できる  
 ・自立に向けた入浴、清潔保持、身支度に関連した福祉用具について理解・活用できる。  
 ・支援の根拠を説明することができる。

《成績評価の方法》

実技 80%  
 レポート 10%  
 授業の取組 10%

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。レポートは、2週間以内にコメントを入れて返却する。

《成績評価基準》

・入浴・清潔保持の意義意義・目的を理解し、安全で心地よい介助が実践できたか。  
 ・利用者の健康状態や状況を把握し、潜在能力を活かした基本的な整容・身支度・衣服の着脱の技術が習得できたか。  
 ・自立に向けた入浴、清潔保持、身支度に関連した福祉用具について理解・活用できたか。  
 ・支援の根拠を説明することができたか。

《参考図書》

最新介護福祉士養成講座6 生活支援技術 中央法規出版、  
 看護技術がみえる Vol.1 基礎看護技術 大日本印刷株式会社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた入浴・清潔保持の介護	予習：清潔とはなにか考えてみる。(30分) 復習：意義と目的を自分なりにまとめる。(30分)
2	自立に向けた入浴・清潔保持の介護(手浴介助)	予習：手浴・足浴について調べておく。(30分) 復習：手浴・足浴時の注意点・改善点をまとめておく。(30分)
3	自立に向けた身支度の介護(爪切り)	予習：爪について調べておく。(30分) 復習：爪切り時の注意点・改善点をまとめておく。(30分)
4	自立に向けた入浴・清潔保持の介護(洗髪介助)	予習：洗髪時の注意点を考えてみる。(30分) 復習：洗髪時の手順をまとめて整理しておく。(30分)
5	自立に向けた入浴・清潔保持の介護(洗髪介助)	予習：洗髪時の工夫を考えてみる。(30分) 復習：洗髪時の注意点・改善点をまとめておく。(30分)
6	自立に向けた入浴・清潔保持の介護(清拭介助)	予習：清拭とはなにか調べておく。(30分) 復習：清拭の手順・注意点をまとめておく。(30分)
7	自立に向けた入浴・清潔保持の介護(入浴介助)	予習：機械浴について調べておく。(30分) 復習：機械浴の注意点・改善点をまとめておく。(30分)
8	自立に向けた身支度の介護(意義と目的)	予習：身支度について考えてみる。(30分) 復習：身支度についてレポートにまとめる。(30分)
9	自立に向けた身支度の介護(座位時の着脱介助)	予習：着脱時の難しい点を考えてみる(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
10	自立に向けた身支度の介護(臥床時の着脱介助)	予習：臥床時の着脱の手順を考えてみる。(30分) 復習：着脱の手順をまとめて整理しておく。(30分)
11	自立に向けた身支度の介護(臥床時の着脱介助)	予習：臥床時の着脱の注意点を確認しておく。(30分) 復習：着脱の注意点・改善点をまとめておく。(30分)
12	自立に向けた身支度の介護(浴衣の着脱介助)	予習：浴衣について調べておく。(30分) 復習：浴衣の着脱の手順をまとめて整理しておく。(30分)
13	自立に向けた身支度の介護(振り返り)	予習：介助方法が理解できていない部分を明確にしておく。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
14	自立に向けた身支度の介護(まとめ)	予習：今までの資料を確認しておく。(30分) 復習：支援の方法や根拠をまとめる。(30分)
15	自立に向けた身支度の介護(まとめ)	予習：今までの資料を確認しておく(30分) 復習：授業全体で学んだ内容をまとめる。(30分)

《専門科目》

科目名	生活支援技術（排泄）				
担当者氏名	山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

排泄支援は、移動・清潔・着脱などの支援技術を含む総合的技術である。利用者のプライバシーや羞恥心への配慮に代表される、心理的な側面。便秘などの身体状況に対応するための医学的知識の習得を目指す。

この授業は介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づいて授業を行う。

《授業の到達目標》

利用者の残存能力を活かした排泄の介助を考え、排泄の社会的・文化的・心理的・身体的意義を説明できるようになる。

排泄自立に向け、利用者の状態に応じた排泄方法と福祉用具を検討し、実践できるようになる。

排泄に関する利用者の変化に対応できるようになる。

排泄に関する医療的知識を学び利用者の状態に応じた留意点に基づいた排泄支援が実践できるようになる。

《成績評価の方法》

実技 80%

授業の取組 20%

《教科書》

必要時にプリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

欠席数・身だしなみの乱れを数値化して、授業の最初と最後に評価をフィードバックする。

実技テストは13回目の授業で内容を発表し、14・15回目の授業で実施し、試験の講評をもってフィードバックとする。

《成績評価基準》

実技：福祉用具の適切な選択、使用ができるか、実技テストを行い「実技」として評価する。

利用者の状況に応じた排泄介助ができるか、実技テストを行い「実技」として評価する。

授業の取組：授業中に課した演習回数を達成できたかどうかを「授業の取組」として評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた排泄の介護 (排泄の基礎知識)	予習：一週間の自分の排泄を振り返る。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
2	自立に向けた排泄の介護 (気持ち良い排泄)	予習：1回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
3	自立に向けた排泄の介護 (気持ち良い排泄)	予習：2回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
4	自立に向けた排泄の介護 (排泄用具の活用)	予習：3回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
5	自立に向けた排泄の介護 (排泄用具の活用)	予習：4回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
6	自立に向けた排泄の介護 (排泄用具の活用)	予習：5回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
7	自立に向けた排泄の介護 (変化の兆しと気づき)	予習：6回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
8	自立に向けた排泄の介護 (状況に応じた排泄)	予習：7回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
9	自立に向けた排泄の介護 (状況に応じた排泄)	予習：8回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
10	自立に向けた排泄の介護 (状況に応じた排泄)	予習：9回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
11	自立に向けた排泄の介護 (状況に応じた排泄)	予習：10回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
12	自立に向けた排泄の介護 (状況に応じた排泄)	予習：11回目の授業で伝達する。(30分) 復習：授業中に伝達する。(30分)
13	自立に向けた排泄の介護 (状況に応じた排泄)	予習：これまでの実技演習の実施根拠を考える。(30分) 復習：演習での自分の実技の実施根拠を考える。(30分)
14	自立に向けた排泄の介護 (まとめ・実技テスト)	予習：これまでの実技演習の実施根拠を考える。(30分) 復習：演習での自分の実技の実施根拠を考える。(30分)
15	自立に向けた排泄の介護 (まとめ・実技テスト)	予習：これまでの実技演習の実施根拠を考える。(30分) 復習：演習での自分の実技の実施根拠を考える。(30分)

《専門科目》

科目名	生活支援技術（家事・終末期）				
担当者氏名	田中 優子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

人間の生活にとって家事支援が必要不可欠であることを理解し、家事はその人の生活習慣、価値観等その人らしい生活の継続に欠かせない支援であることを理解する。  
 人生の最終段階のとらえ方や意思決定のあり方、ターミナルステージのアセスメントの視点を学び、介護現場での看取りについて意識しながら介護の役割について考える。

《授業の到達目標》

- ・人間の生活において家事ができなくなることは自宅での生活の維持が困難になること理解し家事支援の重要性を学び「人が生きていく」ための支援を習得する。
- ・人生の最終段階のとらえ方を学び、介護の考え方と介護福祉職の役割を理解する。
- ・人生の最終段階における意思決定の在り方、アセスメントの視点を学ぶ。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %  
 課題 % 実技 40%  
 授業の取組 10%  
 その他 ( ) %

《教科書》

最新介護福祉士養成講座 6・7 生活支援技術 中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出課題については作品を確認した後希望者には返却する。

《成績評価基準》

- ・家事支援の重要性が理解でき「人が生きていく」ための家事支援が習得できたか。
- ・人生の最終段階のとらえ方、介護福祉職の役割について理解できたか。
- ・人生の最終段階の意思決定の在り方やアセスメントの視点について理解できたか。

《参考図書》

配布プリント

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 家事支援の意義と目的	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：配布プリントを参考に授業内容をまとめる
2	自立に向けた家事支援 基礎知識	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：配布プリントを参考に授業内容をまとめる
3	自立に向けた家事支援 基礎知識	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：配布プリントを参考に授業内容をまとめる
4	自立に向けた家事支援 基礎知識	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：配布プリントを参考に授業内容をまとめる
5	自立に向けた家事支援 事例検討	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：事例を参考に授業内容をまとめる
6	自立に向けた家事支援 事例検討	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：事例を参考に授業内容をまとめる
7	自立に向けた家事支援 演習	予習：配布プリントを読んでおく 復習：授業での演習内容をまとめる
8	自立に向けた家事支援 演習	予習：配布プリントを読んでおく 復習：授業での演習内容をまとめる
9	自立に向けた家事支援 演習	予習：配布プリントを読んでおく 復習：授業での演習内容をまとめる
10	自立に向けた家事支援 まとめ	予習：今までの配布プリントを読んでおく 復習：授業での内容をまとめる
11	終末期の介護 意義と介護の役割	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：配布プリントを参考に授業内容をまとめる
12	終末期の介護 終末期の体の変化	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：配布プリントを参考に授業内容をまとめる
13	終末期の介護 事例紹介	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：事例を参考に授業内容をまとめる
14	終末期の介護 事例紹介	予習：テキストの範囲を読んでおく 復習：事例を参考に授業内容をまとめる
15	終末期の介護 まとめ	予習：今までの配布プリントを読んでおく 復習：授業での内容をまとめる

《専門科目》

科目名	介護過程 A				
担当者氏名	折居 明日香、中野 幹子、一山 幸子、川井 小百合、田邊 伸一、山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

介護過程の意義や目的について学び、生活支援の考え方と介護過程の必要性を理解する。また、本人の望む生活の実現へ向けた介護過程を展開するための一連のプロセスを学ぶ。事例を通じ、生活課題の分析を行い、根拠に基づいた介護実践を伴う課題解決の思考過程の力を養う。

《教科書》

適宜プリントを配布。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は提出後に確認し、返却する。  
また、授業内で個別指導や解説を実施する。

《授業の到達目標》

利用者の情報を収集・整理し、適切な情報を記述することができる。

利用者の生活上の課題となる状況に気づき、アセスメントにおける情報の解釈・関連付け・統合化を行う(記述する)ことができる。

生活課題を明確化し、支援内容や方法を考え介護計画の立案・実施・評価・考察を行う(記述する)ことができる。

《成績評価基準》

記述指導における受講態度・グループや全体での発表内容に加え、課題の提出や内容を採点し、総合的に評価をする。

《成績評価の方法》

レポート 10%

課題 70%

授業の取組 20%

《参考図書》

「ヘルプマン！」に学ぶ介護過程  
八木裕子著 中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	介護過程の意義と基礎的理解	予習：介護過程 で配布したプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
2	介護過程の意義と基礎的理解	予習：介護過程 で配布したプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
3	介護過程とチームアプローチ	予習：介護過程 で配布したプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
4	介護過程とチームアプローチ	予習：介護過程 で配布したプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
5	介護過程の展開の理解	予習：前回の授業で配布したプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
6	介護過程の展開の理解	予習：介護場面の模擬演技からアセスメントを考えてみる。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
7	介護過程の展開の理解	予習：アセスメントに関して、質問や疑問点を挙げておく。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
8	介護過程の展開の理解	予習：グループ発表に備えて、必要な資料の作成や準備を行う。(30分) 復習：発表内容や資料を振り返り、改善点をノートにまとめる。(30分)
9	介護過程の展開の理解	予習：グループ発表に備えて、必要な資料の作成や準備を行う。(30分) 復習：発表内容や資料を振り返り、改善点をノートにまとめる。(30分)
10	介護過程の展開の理解	予習：介護場面の模擬演技から介護計画を考えてみる。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
11	介護過程の展開の理解	予習：介護場面の模擬演技から介護計画を考えてみる。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
12	介護過程の展開の理解	予習：グループ発表に備えて、必要な資料の作成や準備を行う。(30分) 復習：発表内容や資料を振り返り、改善点をノートにまとめる。(30分)
13	介護過程の展開の理解	予習：グループ発表に備えて、必要な資料の作成や準備を行う。(30分) 復習：発表内容や資料を振り返り、改善点をノートにまとめる。(30分)
14	介護過程の展開の理解	予習：GWを振り返り、介護計画に記述する内容を考えてみる。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(30分)
15	まとめ	予習：授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく。(30分) 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容の要点をノートにまとめる。(30分)

《専門科目》

科目名	医療的ケア A				
担当者氏名	小車 淑子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。			

《授業の概要》

【介護福祉士必修】  
医療職と連携のもと、経管栄養や喀痰吸引等の医療的ケアを安全で適確に実施できるよう、必要な知識を学ぶ。  
関連する人体の構造や機能を復習しながら、教科書の内容をふまえてパワーポイントを使用して講義する。

《教科書》

PPプリント配布  
MINERUVA福祉資格テキスト医療的ケア  
竹宮敏子監修 ミネルヴァ書房

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

単元ごとに復習小テストを実施し、解説する

《授業の到達目標》

医療的ケアを実施するうえで基礎となる、リスクマネジメントについて理解し、説明することができる。  
介護現場で起こりうる感染の基礎知識と予防対策について理解し、説明することができる。  
急変時の状態について理解し対応を実施できる。  
痰の吸引に必要な人体構造と機能について理解し、説明することができる

《成績評価基準》

筆記試験を実施し授業内容の理解度と、授業への取り組みを評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%  
授業の取組 20%

《参考図書》

介護職員等のための医療的ケア 日本訪問看護財団  
ミネルヴァ書房

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション リスクとは	教科書p52～55(2時間)・配布プリント(2時間)
2	安全な療養生活とリスク マネジメント	教科書p64～66(2時間)・配布プリント(2時間)
3	感染予防の基礎知識	教科書p66～73(2時間)・配布プリント(2時間)
4	個別の感染症と感染予防	教科書p74～75(2時間)・配布プリント(2時間)
5	小テスト リスクマネ ジメント・感染予防	教科書p52～75(2時間)・配布プリント(2時間)
6	健康状態の把握 血圧・脈拍	教科書p76～83(2時間)・配布プリント(2時間)
7	健康状態の把握 体温・呼吸	教科書p84～86(2時間)・配布プリント(2時間)
8	急変状態	教科書p56～63、87～89(2時間)・配布プリント(2時間)
9	小テスト 健康状態・ 急変状態	教科書p76～90(2時間)・配布プリント(2時間)
10	高齢者及び障害児者の痰 の吸引概論	教科書p92～94(2時間)・配布プリント(2時間)
11	異常な呼吸状態とは たんの吸引とは	教科書p95～99(2時間)・配布プリント(2時間)
12	人工呼吸器装着者の吸引	教科書p100～116(2時間)・配布プリント(2時間)
13	小テスト 痰の吸引 解説	教科書p92～117(2時間)・配布プリント(2時間)
14	まとめ	配布プリント・小テスト (2時間)
15	救急救命法(演習)	教科書p58～63(2時間)・配布プリント(2時間)

《専門科目》

科目名	医療的ケアB				
担当者氏名	中野 幹子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

経管栄養に必要な医療制度や社会保障制度の基本を学び、経管栄養演習により手技を修得できるように指導する。

《教科書》

ミネルヴァ書房「医療的ケア」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

経管栄養の演習チェックによるフィードバック

《授業の到達目標》

1. 変動する社会・高齢者人口の増加が介護サービスに与える影響、利用者の尊厳を守り自立を支援、医療と介護の倫理、インフォームド・コンセントを理解できる。
2. 職員等の医行為に関連する制度や医療的ケアに関連する職種と介護職員の役割をすることができる。
3. 高齢者及び障害児・者の経管栄養の概要を理解できる。
4. 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順を修得できる。

《成績評価基準》

演習チェック試験と授業への取り組みを総合的に評価する。

《成績評価の方法》

レポート 10%  
実技 70%  
授業の取組 20%

《参考図書》

国家試験ナビ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	15回の授業内容、評価の方法の説明
2	現代社会と利用者の尊厳を守り自立を支援	予習：高齢社会の理解と対象者の尊厳と自立(1時間) 復習：高齢社会の理解と対象者の尊厳と自立(1時間)
3	医療と介護の倫理，インフォームド・コンセント	予習：経管栄養に対する対象者や家族の尊厳と理解(1時間) 復習：インフォームドコンセントを理解する(1時間)
4	介護職員等の医行為に関連する制度と役割	予習：介護保険制度と医療保険制度(1時間) 復習：吸引と制度の関連性(1時間)
5	経管栄養の基礎知識と経管栄養の適応となる状態	予習：経管栄養と疾患(1時間) 復習：消化器疾患と経管栄養(1時間)
6	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順	予習：経管栄養の必要物品と手順(1時間) 復習：手順の理解(1時間)
7	経管栄養の演習：経鼻経管栄養	予習：経鼻経管栄養の手順とポイント(1時間) 復習：手順のポイント理解(1時間)
8	経管栄養の演習：経鼻経管栄養	予習：経鼻経管栄養の手順とポイント(1時間) 復習：手順のポイント理解(1時間)
9	経管栄養の演習：経鼻経管栄養	予習：経鼻経管栄養の手順とポイント(1時間) 復習：手順のポイント理解(1時間)
10	経管栄養の演習：胃瘻栄養	予習：胃瘻栄養の手順とポイント(1時間) 復習：手順のポイント理解(1時間)
11	経管栄養の演習：胃瘻栄養	予習：胃瘻栄養の手順とポイント(1時間) 復習：手順のポイント理解(1時間)
12	経管栄養の演習：胃瘻栄養	予習：胃瘻栄養の手順とポイント(1時間) 復習：手順のポイント理解(1時間)
13	経管栄養の演習チェック	予習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養手順のチェック(1時間) 復習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養の手順のチェック(1時間)
14	経管栄養の演習チェック	予習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養手順のチェック(1時間) 復習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養の手順のチェック(1時間)
15	経管栄養の演習チェック	予習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養手順のチェック(1時間) 復習：経鼻経管栄養、胃瘻栄養の手順のチェック(1時間)

《専門科目》

科目名	介護実習				
担当者氏名	中野 幹子、一山 幸子、川井 小百合、折居 明日香、田邊 伸一、山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	実習	単位・必選	10単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

- ・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的能力を習得する。
- ・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

《教科書》

本学作成の「実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習課題については、実習巡回担当教員ごとに個別指導を実施する。

《授業の到達目標》

- ・実習施設の概要を学ぶことができる。
- ・利用者に安心されるようなコミュニケーションや利用者の障害や心身の状況に応じ、安全な生活支援技術を学ぶ。
- ・専門職における役割の理解や他職種連携、チームケアについて体験的に学び、チームマネジメント力を養う。
- ・地域での生活を支える施設、事業所の役割を理解し、地域における生活支援を実践的に学ぶ。

《成績評価基準》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《成績評価の方法》

実習の取り組み、実習課題（提出・発表）を総合的に評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習( )-3 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
2	実習( )-3 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
3	実習( )-3 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
4	実習( )-3 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
5	実習( )-3 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
6	実習( )-3 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
7	実習( )-3 地域における生活支援の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
8	実習( )-3 他職種協働の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
9	実習( )-3 他職種協働の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
10	実習( )-3 他職種協働の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
11	実習( )-3 他職種協働の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
12	実習( )-3 他職種協働の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
13	実習( )-3 他職種協働の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
14	実習( )-3 他職種協働の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
15	実習( )-3 他職種協働の実践	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。

《専門科目》

科目名	手話				
担当者氏名	福田 九				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】

ろう者の暮らし、手話の歴史、聴覚障害、ソーシャルワーク哲学を身に付けることによって、ろう者・聴覚障がい者に対する支援技能を高める。

《教科書》

わたしたちの手話学習辞典（全日本ろうあ連盟）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

返却しない。授業時にパワーポイントを使用して説明する。講評する。

《授業の到達目標》

- ・手話、手話言語に対する違いを説明できるようにする。
- ・手話で話せるようにする。（日常会話ができるようになる）

《成績評価基準》

手話・手話言語について説明できる、話せることが前提であるので、筆記試験・レポート・課題・実技・授業の取組で総合して評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験	10 %	レポート	10 %
課題	10 %	実技	10 %
授業の取組	60 %	その他（	） %

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	本講義概要説明、テキストの使い方等	予習：シラバスを確認する(60分) 復習：シラバスを確認する(60分)
2	手話と手話言語の違いについて	予習：「手話」「手話言語」「聴覚障害」「難聴」「ろう」について確認をする(60分) 復習：「手話」「手話言語」「聴覚障害」「難聴」「ろう」について確認をする(60分)
3	ろう者・聴覚障害者等の呼称について	予習：ろう教育、聴覚障害者福祉について調べておく(60分) 復習：授業で確認した呼称についてノートにかきまとめる(60分)
4	手話の必要性について	予習：手話の必要性について調べておく(60分) 復習：手話を必要としている人、なぜなのか、理由をノートに書きまとめる(60分)
5	支援と援助の違いについて	予習：「支援」、「援助」について調べておく(60分) 復習：授業で確認したことをノートに書きまとめる(60分)
6	ろう者の福祉について“福祉”の本質は？	予習：「福祉の本質」を調べておく(60分) 復習：「福祉の本質」についてノートに書きまとめる(60分)
7	歴史を学ぶことの意味を考える	予習：「歴史」「記録」について調べておく(60分) 復習：授業で確認したことをノートに書きまとめる(60分)
8	ICF(国際生活機能分類)による支援の視点を学ぶ	予習：「国際障害分類」「国際生活機能分類」について調べておく(60分) 復習：授業で確認したことをノートに書きまとめる(60分)
9	(実践)ろう者の生活について考える	予習：「ろう者の生活」について調べておく(働く)(60分) 復習：授業で確認したことをノートに書きまとめる(60分)
10	(実践)ろう者の生活について考える	予習：「ろう者の生活」について調べておく(子育て)(60分) 復習：授業で確認したことをノートに書きまとめる(60分)
11	(トレーニング)シャドーイング(自己紹介)	予習：日常会話で使う手話(自分の名前・趣味)を調べておく(60分) 復習：授業で確認したことを表現できるかどうか確認、練習する(60分)
12	(トレーニング)シャドーイング(暮らし)	予習：日常会話で使う手話(家族)を調べておく(60分) 復習：授業で確認したことを表現できるかどうか確認、練習する(60分)
13	(トレーニング)シャドーイング(学校生活)	予習：日常会話で使う手話(食べもの)を調べておく(60分) 復習：授業で確認したことを表現できるかどうか確認、練習する(60分)
14	(トレーニング)シャドーイング(旅行)	予習：日常会話で使う手話(地名)を調べておく(60分) 復習：授業で確認したことを表現できるかどうか確認、練習する(60分)
15	本講義の総括	予習：今まで整理したことをまとめる(60分) 復習：授業で確認したことをノートに書きまとめる(60分)

《専門科目》

科目名	癒しのケア				
担当者氏名	外園 裕美、毛利 律子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】(外園)第1～8回：セラピーメイクの技法と関わりのための心理学、コミュニケーションをとる方法、信頼関係を作る方法、傾聴する技法など  
(毛利)第9～15回：セラピューティック・ケアの理念に習熟し、福祉を目指す者に必要な、心に寄り添う為のツールとしての基本技術を習得する。また、施術をする上で必要な部位の解剖生理学・接遇・傾聴・感染への対処法・活動規範などを学ぶ。

《授業の到達目標》

(外園)高齢者や障害者の人へメイクとその関わりを使ってケアをしていく技術を学ぶ。メイクをする事で温かな気持ちが生まれ、高齢者や障害者の方々を笑顔にする力を身につける。  
(毛利)本ケアの理念・効果・目的を正確に理解した上で施術に応用できる。施術時に、適切な接遇や傾聴を行える。お互いに施術し合う中で、正確な位置・圧・速度を確認しながら順番通りに手を動かす事ができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 (毛利)30%  
レポート (外園)50%  
課題 (外園)20% (毛利)30%  
実技 (毛利)30%  
授業の取組(外園)30% (毛利)10%

《教科書》

(外園)配布資料あり  
(毛利)セラピューティック・ケア(改訂版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

(毛利)実技・課題に於いて講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

(外園)授業態度や課題への取り組み方、レポートによる理解度をチェックします  
(毛利)施術がもたらす効果の根拠がわかっている事笑顔で挨拶及び傾聴ができている事  
施術のポイント、順番を覚えている事

《参考図書》

(外園)配布資料あり

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	セラピーメイク概論	予習：講義要項を読んでおく(30分) 復習：授業の復習(30分)
2	福祉セラピーメイクの役割と効果活動	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
3	ラポールの構築	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
4	フェイスマッサージ	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
5	スキンケア技術	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
6	ナチュラルメイク技法	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
7	ナチュラルメイク技法	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
8	介護メイクとしての注意と実際	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
9	オリエンテーション、自己紹介、DVD視聴、ネック&ショルダー	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
10	セラピューティックケア概論(P0)視聴、ハンド&アームケア	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
11	施術上の留意点、ネック&ショルダーケア・ハンド&アームケア	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
12	傾聴・接遇・科学的根拠、同上	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
13	相乗効果・呼吸法・音楽、ネック&ショルダー・レッグケア	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
14	手技の確認(三手技ネック&ショルダー・ハンド&アーム・レッグケア)	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)
15	まとめ	予習：授業の予習(30分) 復習：授業の復習(30分)

《専門科目》

科目名	介護の基礎				
担当者氏名	古賀 さと子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【本学独自の選択科目】  
 国家試験によく出る語彙や文法を学び、国家試験に対応できる日本語力を身につけることを目指す。また、国家試験の問題に慣れ、専門知識の整理ができるよう、模擬問題を通して学習を進める。

《教科書》

介護福祉士国家試験模擬問題集2020（中央法規）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は次回の授業内でフィードバックをする。

《授業の到達目標》

国家試験に対応できる日本語力（語彙・文法）を身につける。

専門用語、専門知識の整理をする。

国家試験の問題に慣れる。

《成績評価基準》

- ・授業内で学んだ語彙や文法を理解し、覚えているか。
- ・学習した専門知識について整理できているか。
- ・事例問題や模擬問題の読解ができ、内容を理解できているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %

課題 20% 実技 %

授業の取組 30%

その他 ( ) %

《参考図書》

見て覚える！介護福祉士国試ナビ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	国試によく出る語彙	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
2	国試によく出る文法	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
3	模擬問題(こころのしくみ)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
4	模擬問題(肺・脳・神経)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
5	模擬問題(消化器疾患)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
6	模擬問題(骨折・廃用症候群)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
7	模擬問題(嚥下・食事療法)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
8	模擬問題(睡眠・終末期の介護)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
9	模擬問題(発達課題)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
10	模擬問題(知能・記憶)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
11	模擬問題(糖尿病・心疾患)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
12	模擬問題(肝疾患・パーキンソン病)	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
13	事例問題読解	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
14	事例問題読解	プリントの予習(30分) 宿題(30分)
15	まとめ	プリントの予習(30分) 宿題(30分)